



PICKUP 敷島公園のボランティア活動 ※花みどりサポーターズしきしまの活動風景



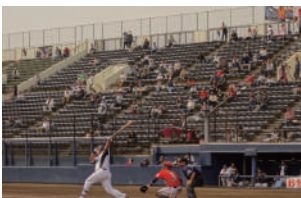
～敷島公園でボランティア活動をしませんか～

敷島公園は、日頃からボランティアさんに公園管理のお手伝いをしていただいています。今年度はすでに、のべ50名近くが、様々なジャンルで園内にて活動を展開しています。最近は、本の森に大量の除籍本が寄せられ、書庫に収める作業を県立女子大の学生さんにお手伝いをいただきました。このように、幅広い世代のボランティアさんによって、敷島公園の運営管理は支えられています。ボランティアスタッフは随時募集をしていますので、お気軽にお問い合わせください。
敷島公園管理事務所 027-234-9338
(担当 岡田)

EVENT 春のイベント報告・案内

- ▼4月14日より 「BCリーグ」が開幕しました。敷島球場では7/30、8/14、8/30、8/31、9/23に試合が行われます。ぜひ観戦にきてください。※1
- ▼4月23日より 敷島公園を会場に、Jリーグ介護予防事業の一環として、ザスパクサツ群馬主催による「健康づくり教室」が開催されました。教室では管理栄養士や理学療法士による本格的な指導が行われていました。※2
- ▼5月21日まで
- ▼4月29日 「2013年敷島公園まつり～共催：グリーンフェア～」が開催されました。詳細は裏面の学生プレスによる特集記事をご覧ください。
- ▼5月5日より 「Happy お野菜のまるよし」さんが営業を再開しました。管理事務所横で、とりたて野菜を販売しています。(土日祝日営業)※3
- ▼5月25日 アネモネの会のご協力によりビーズアクセサリー、クラフト手芸教室を開催しました。やさしい先生方の指導のもと、素敵な作品が完成しました。今後も、月に1回のペースで教室を開催していく予定です。[次回開催:6月15日(土)]※4
- ▼6月21日 敷島球場で午後6時より「巨人VS中日」セ・リーグ公式戦が開催されます。スター選手の迫力あるプレーを間近で観覧するチャンスです!

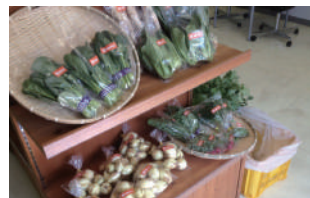
PHOTO 春のイベント報告・案内の写真



▲BCリーグ開幕! ※1



▲ザスパクサツ群馬主催「健康づくり教室」※2



▲まるよしさんのとりたてお野菜※3



▲手芸教室の様子※4

EVENT 2013年 敷島公園まつり ~共催:グリーンフェア~

今回、敷島公園まつりの模様を東日本デザイン&コンピュータ専門学校デザイン研究部「SENSE 9th」の皆さんにレポートして頂きました!!



4月29日祝日に敷島公園にて「2013年 敷島公園まつり~共催:グリーンフェア~」が開催されました。「みどりの日」を記念し平成2年度より開催されている敷島公園まつりでは、自然をテーマに木工工作、マイ箸づくりを体験できる「グリーンフェアゾーン」、ボート池の無料開放や魚のつかみどりなどの「水の広場ゾーン」等、自然とふれあう催し物がたくさん行われました。その他にも活気にあふれた楽しい催し物がたくさんありましたので、その中からいくつかご紹介いたします!



取材協力: SENSE9th

CHECK

・しきしまルシェゾーン

しきしまルシェゾーンには地元農家や群馬県内の人気店など11店が出店していました。マルシェ周辺は、食欲を誘う美味しそうな匂いが充満していました。どのお店も行列が途絶えず、中には昼過ぎには売り切れてしまうお店もありました。※1 笠原

・プロスポーツゾーン

プロスポーツゾーンでは地元の方にもっとチームを知ってもらいたいと、ザスパクサツ群馬、群馬ダイヤモンドペガサス、群馬クレインサンダーズの3チームが勢揃い!各チームテントではグッズ販売やイベントが行われ、参加した子供達は楽しそうでした。※2 澤木



▲美味しそうな匂いに行列が!※1



▲ペガサス選手とジャンケン!※2

・エフエム生放送 (M-wave. 内特別番組)

「繋がることから始まること」をテーマに生放送。群馬県をホームタウンとするプロスポーツチーム3団体に加え、新潟よりアルビレックス新潟の代表取締役社長田村様をむかえ、プロスポーツと地域づくりについて熱い議論が交わされました。午後は地元アーティストによる生歌披露!お客様と共に盛り上がりました。※3 晴智



▲トークショーを間近で!※3



▲夢中でお話を聞く子どもたち※4

・森の教室ゾーン

普段は図書館「本の森」として使われている管理事務所の一室。そこで絵本の読み聞かせや昔懐かしい紙芝居が行われました!参加した子どもたちは絵本の世界に引き込まれ、とても楽しそうにお話に耳を傾けていました。※4 笠原

・AED講習会

群馬 PUSH プロジェクト代表の庭前野菊さんから心肺蘇生法とAEDの講習を受けてきました。お話の中で驚いたのは、心臓突然死でなくなる方は年に六万人もいるということ。一人でも多くの命を救う為多くの人にAED講習を受けていただきたいです。※5 田村



▲本物のAEDと人形を使った講習や心肺蘇生の模擬体験※5